

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	5 月 7 日 (水)	香川 満里奈

● 実施計画

活動テーマ

サイエンス ～自然～
図鑑や地図をつくろう

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

子どもたち一人ひとりの気づきを友だちと積極的に伝え合う姿が多く見られ、特に「どこで見つけたか？」という発見場所への関心が強く表れていた。これにより、自然と“場所”への意識が高まり、空間認識の発達が促されていた。また、友だちの発見に興味を持ち、「私も見てみたい。」という意欲的な発言も増えてきている。

活動スケジュール

環境設定 ・ 準備物

時間	内容	
10:00	・動植物への興味から、日々の自由遊びの際に観察する姿や世話をする姿が見られている。 ・観察の中での気づきや変化を言葉で伝えあっている。 ・上記の子どもたちの姿から、変化や気づきを言葉で伝えあう。 ・伝えあっている内容をホワイトボードに書き出す。 ・育てている動植物が、どのような環境で生きているのかを考えたり、調べたりする。 ・動植物の気持ちを考えることで道徳性の育ちへと繋がっていく。 ・今育てている動植物をどのような環境で育てる・生きるかをクラス全員で話で決める。	【環境設定】 ・調べたり、興味関心を深めたりできるように、図鑑や絵本を活用できる環境を用意する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。 【準備物】 ・公園で収集したもの ・公園で撮影した写真 ・ポケット図鑑 ・植物や昆虫の図鑑 ・ホワイトボード ・マーカー 【事前準備】 ・子どもたちが日頃からポケット図鑑に触れる機会を作る。 ・訪れた公園の写真を準備しておく。 ・採取した植物など保管状態に気をつけていく。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・日々の観察で、変化に気づき知りたいという探求心や、育てるという生命の保持が見られる。 ・動植物が生きていくために必要なもの、環境を知り、クラス全体で方向を決めていく。	・子どもたちの気づきを大切にする。 ・動植物を育てる意欲を大切にし、どうしていくかを子どもたち同士の話し合いで決めることができるように、必要に応じて保育者が声をかける。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
捕まえた虫の観察をする中で、「元気が無いから逃がしてあげよう」という発言があった。その言葉に「この虫は元気だから育てたい」という話し合いが始まった。また「私はこの虫を育てる」という一言に、1人ひとりが自分で育てる虫を決めていた。また、育てるために何が必要かと、図鑑を用いて質問していた。見つけた幼虫は何になるのかと、考えた上、調べたりして1匹ずつに名前を付け、大切に育てる気持ちや姿に繋がった。	活動を通して命や他者への思いやりといったことに注目していきると、日々の関係性の中での思いやりはつながっていくきっかけにもなりそう。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	9 月 2 日 (火)	香川 満里奈

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～食べる～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
朝の登園から「お腹空いた」と話す児があり、そこから朝ごはんの内容についてのやり取りが見られた。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・朝ごはんの献立を思い出し、紙に献立を書き出す。	・児が安心して発言できる雰囲気をつくる。 ・気づきやつぶやきは、その場で共有したり、ホワイトボードにまとめる 【準備物】 ・ホワイトボード ・ホワイトボードのペン ・絵本
10:15	・体は何からできているのか考えてみる。 ・体の仕組みの絵本を見る。	
10:30	・お腹に入ったご飯は、どこへ行くのか考え意見を出し合う。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
体は何からできているのか、体の仕組みを考えた。体に興味のある児が率先して教えてくれたり、みんなで図鑑や本をみて探究していく。	「食べ物食べた後どこにいくの?」「朝ごはんを食べないと元気が出ないのはなんで?」と疑問に思う姿があった。また、図鑑や体の絵本を見ていくと胃や腸などの内臓にも興味を示していた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
興味の示している児のみを集めて活動をした。図鑑や絵本など、大人数で見るには小さいので、拡大した物を次回準備していきたい。また、絵などを見るだけでなく、食べたあとのお腹の膨らみなどにも気づけたら面白いのではないかと思った。	子どもが大好きな「うんち」ですね。何となく「汚いもの」のイメージから、意味のある「排泄物」になっていくと、大きな成長ですね。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	9 月 10 日 (水)	香川 満里奈

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～食べる～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
栽培などを通して給食の献立に興味を持ち、様々な食べ物の栄養について保育者に質問する姿が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・昨日の給食の献立を思い出し、ホワイトボードに書き出していく。	・児が安心して発言できる雰囲気をつくる。 ・気づきやつぶやきは、その場で共有したり、ホワイトボードにまとめる
10:15	・三色食品群を知る。 ・給食に出てきた食品を三色食品群に分ける。	【準備物】 ・ホワイトボード ・ホワイトボードのペン ・三色食品群のイラスト ・食べ物のイラスト
10:30	・食材の働きを調べる。 ・調べた内容を発表する。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
前回の活動から、体への栄養に興味を示していたため、三色食品群を通して更に栄養について関心を深めた。給食の献立から、一つ一つの食品を働きごとに分ける。	三色食品群を知ってからは、クイズ形式で食品を分けた。「にんじんはどこ?」「せんせい教えてよー」などと難しそうに頭を抱えていた。たくさんの食品を分けることができるとハイタッチをして児同士で喜んでいる。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
三色食品群にとっても興味を示していたため、活動後も保育室に掲示をした。すると、給食の際に食材の栄養を調べる姿と、苦手な食べ物を食べる姿があり、食育に大きく繋がったと感じた。	ここは何故か子どもが好きなところですね。大手スーパーが啓発活動でやっている出張食育教室を思い出しました。たしか、まさにこの分野(三色食品群)について、分かり易いキャラを作ってやっていたかと思いますので、そうしたのを活用するのもありですね。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	9 月 17 日 (水)	香川 満里奈

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～食べる～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
前回の活動から、給食の際に食品一つ一つを三色食品群に分けながら会話する姿が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・前回の活動を振り返る。	・児が安心して発言できる雰囲気をつくる。 ・気づきやつぶやきは、その場で共有したり、ホワイトボードにまとめる
10:05	・前回到引き続き、食材や体の仕組みについて調べたいという意見から、図鑑と絵本を集めて読んでみる。	・小さな発見やつぶやきも丁寧に受け止め、「おもしろいね」「きづいたね」と承諾することで、探究する意欲や満足感に繋げていく。
10:30	・様々な本から知ったことを発表する。	【準備物】 ・ホワイトボード ・ホワイトボードのペン ・食べ物・体についての絵本や図鑑

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
前回の活動から、食品群と体について詳しく調べている児が多くいる。その為、静かな環境でじっくりと調べられる時間にした。	「なんできゅうりは栄養が少ないの?」「なんか臭い」「かっぱが食べるんだよ」など様々な呟きが聞こえてきたが、食育の積み重ねの影響からか、栄養面に興味を示す言葉もあった。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
児の「もっと調べたい」の気持ちから、静かな環境を作り、時間を多く設けた。4歳児保育室との間もパーテーションで声がよく聞こえてくるため、活動する児の人数や内容によって取り組む場所を考え変更していきたいと感じた。	ただの好き/嫌いから、栄養といった視点になったのは1つの成果ですね。積み重ねで成長していく姿が感じられる瞬間は嬉しいですね。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	9 月 24 日 (水)	香川 満里奈

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～食べる～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
栄養について知ること、苦手な物も食べてみようとする姿が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・前回の活動を振り返る。	・児が安心して発言できる雰囲気をつくる。 ・気づきやつぶやきは、その場で共有したり、ホワイトボードにまとめる ・活動中も継続的に問いかけを行い、それぞれの考えが広がっていくように関わっていく。 【準備物】 ・ホワイトボード ・ホワイトボードのペン ・画用紙 ・鉛筆
10:10	・好きな料理は何かを問いかけ、発言をホワイトボードにまとめていく。 ・料理は誰が作ってくれるのか考える。 ・料理の材料を調べる。	
10:30	・材料はどこで買っているのか、ミールさんに手紙を書いて聞いてみる。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
好きな料理から、作ってくれる人や食材調達までを考えた。また、ミールさんに質問の手紙を書いた。	「ミールさんに聞いてみたい」「ママにきいてみる」「お店の人からも聞けるかな」と実際に聞いてみたいという声が多かった。手紙を提案すると、ひらがなを書ける児を中心に手紙を書いていた。

● 振り返り

保育者側の気付き	
手紙に書いたり、聞いたことを紙にまとめたりと、ひらがなへの興味にも繋げることが出来た。また、様々な人とのコミュニケーションにも繋がった。	どんな活動でもそうですが、色々な人(老若男女、国籍、職業…)がいて、色々な反応があって、その時々で必要とされる対応があって…何気なく大人がやっている事を、1つ1つ経験している子ども達が上手くいって喜んだり、うまくいかなかったりを味わって、コミュニケーションの楽しさとか充実感を得られる事は素敵ですね。本来の趣旨とは外れますが、それも活動の醍醐味です。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	10 月 15 日 (水)	香川 満里奈

● 実施計画

活動テーマ		
アート ～色のふしぎ～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
前回に引き続き、色の薄さ・濃さに興味を持ち、「これは何色だろう」と考える姿が見られるようになった。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・寒色・暖色・中間色について知り、絵具を混ぜてたくさんの色を作る。	・児が安心して発言できる雰囲気をつくる。 ・気づきやつぶやきは、その場で共有したり、ホワイトボードにまとめる
10:15	・作った色を三原色に分ける。	・いくつかの色を提示し、具体例ををあげるなどし、児が混色の組み合わせを言語化出来るようにする。
10:30	・出来た色に名前を付けてみる。	【準備物】 ・ホワイトボード ・ホワイトボードの ・絵具 ・パレット、筆、雑巾、水 ・三原色のイラスト

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
色の三原色について気付いたことを発表した。また、様々な色づくりをし三原色に分ける。オリジナルの色を作り見せ合うと、自然と児が色に名前をつけて楽しんでいた。	三原色を知ると「雪みたいで、なんだか寒そう」「太陽で熱い色」などと季節のイメージで表現している。また、オリジナルの色も、三原色から似ている色を探し寒色暖色中間色に分けていた。名前づけは「ひろと」「ゆりないろ」と自分の名前を使う児が多かった。

● 振り返り

保育者側の気付き	
三原色を知ることによって色の多さに気づき、色づくりの面白さを味わっている様子だった。その為、さらに色を使った遊びが楽しくなっていると感じた。それは色を作る遊びだけでなく、ブロックやラキューなど、色の多い玩具でも同じだと思う。	自分も最初期の「科学的」な探究の記憶はこの三原色(と砂鉄)ですね。絵の具を混ぜると色が変わる、経験則で知ってはいるものの、そこにルール＝法則…つまり、科学があるというところに面白さを感じられるか、というのがポイントかなと。